

# 大学生協東海ブロック 2022 卒業生アンケート報告

## <調査結果要旨>

- コロナ禍を経験した大学生が大学生活で一番時間を費やした事柄は勉学研究だった
- 卒業学年における不安や困り事を調査した結果、学業面、4月以降の新しい環境準備に関する不安や困り事について多くの声が寄せられた
- 民間就職した卒業生への追加調査の結果、就職準備に関わる支出の内容が明らかになった
- 民間就職した卒業生へ食生活の変化について調査した結果、在学中よりも健康的になったと答えた割合が50%だった

## ページ 内容

- 1 調査概要
- 2 大学別回答者数一覧
- 3 大学時代の経験
- 4 大学時代のSDGsへの関わり
- 5 大学生活は充実していましたか？
- 6 大学生活の充実度における相関関係
- 7 大学生から次のステージに向かう卒業生
- 8 卒業前後の不安や困り事  
～追加調査結果報告～
- 9 就職準備に関わる支出について
- 10 卒業後の食生活の変化について  
巻末付録  
卒業生の声～生協版卒業文集～

# 1:調査概要

## 目的

- 卒業生の大学時代の経験や教訓を後輩に伝え、より良い大学生活を送れるようサポートする
- 卒業される組合員の声を大切にし、今後の大学生協の事業活動の改善に取り組む

## 方法

- インターネット調査  
(大学生協WEB会員登録者のうち、卒業予定年度の方へメール連絡)

## 時期

- 2022年11月～2023年3月

## 対象

- 東海地区で2022年度卒業予定の大学生協組合員(約16,066人)

## 回答者

- のべ3,553人(回収率7.3%)

## 備考

- 卒業前後の卒業生の生活スタイルを踏まえ、3つの時期とテーマを設定し、調査を行った

	第1回	第2回	第3回
時期	2022年 11月1日～3月31日	2023年 1月30日～3月31日	2023年 3月1日～3月31日
テーマ	大学生活の経験	大学生活の教訓	卒業前後の困り事
内容	卒論・卒研で多忙。 簡単に大学生活の経験 を振り返る内容	卒論・卒研終了後 大学生活を振り返り 自由記述中心の内容	就職準備、新生活準備 に関わる内容 大学生協への評価
回答数	1,763	752	1,038
回収率	10.7%	4.6%	6.4%

## 2:大学別回答者数一覧

### 大学別回答者数一覧

	第1回	第2回	第3回		第1回	第2回	第3回
	回答者数	回答者数	回答者数		回答者数	回答者数	回答者数
静岡大	125	45	77	三重大	106	40	67
愛知大	207	66	95	三重短	20	3	4
名大	184	102	175	中京大	128	48	70
愛教大	110	53	55	名城大	185	74	102
名工大	56	45	61	岐女短	65	9	23
名市大	64	27	42	金城学院	124	49	48
愛知県立大	79	40	43	三重看	9	4	5
県芸大	12	7	9	文芸大	30	15	32
福祉大	83	22	35	日赤豊田	9	2	7
岐阜大	141	77	78	インカレ愛知	23	20	6
岐阜薬科大	3	4	4	合計	1763	752	1038

## 2022年度卒業の大学生生活と社会情勢

年	4年制	6年制	2年制	社会の出来事や大学生生活の出来事
2017		1年生		
2018		2年生		平昌オリンピック
2019	1年生	3年生		「令和」に改元
2020	2年生	4年生		4月～コロナ禍:「緊急事態宣言」 ・大学の授業はオンラインへ ・部活・サークル・アルバイトの行動制限
2021	3年生	5年生	1年生	東京オリンピック・パラリンピック コロナ禍ワクチン接種開始
2022	4年生	6年生	2年生	ロシアによるウクライナ侵攻 円安、資源高により物価高騰
2023		3月卒業		5月 コロナ5類移行

### コロナ禍の影響

- ・4年間で卒業した学生は2年生前期から卒業までコロナ禍の影響を受けた世代
- ・短大生の多くは高校3年からコロナ禍の影響を受けた世代

# 3: 大学時代の経験

<第1回卒業生アンケート結果>

**【質問内容】**

①あなたが大学生生活で1番「時間を費やした」事柄を教えてください

②あなたが大学生生活で2番目に「時間を費やした」事柄を教えてください

③あなたが大学生生活で3番目に「時間を費やした」事柄を教えてください

※上記について以下選択肢からひとつを選ぶ

勉学・研究／試験合格や資格取得等を目指した勉強(座学)／試験合格や資格取得を目指した稽古・練習／アルバイト／社会人活動(収入を得て働く)／所属する学内団体への活動(部活・サークル等)／所属する学外団体への活動(NPO、ボランティア団体など)／趣味を充実させる／余暇を充実させる(遊び)／身体を鍛える／特に思いつかない／他

## 大学生生活で一番「時間を費やした」事柄

全体結果(1763人)		人
1	勉学研究	37.6% 663
2	アルバイト	23.4% 412
3	学内団体	13.0% 230
4	趣味	8.2% 145
5	資格勉強(座学)	7.5% 132
6	遊び	7.2% 127
7	学外団体	0.9% 16
8	資格勉強(稽古)	0.7% 12
9	特になし	0.5% 8
10	社会人活動	0.3% 6
10	身体を鍛える	0.3% 6
-	他	0.3% 6

- 多くが2年前期からコロナ禍の影響を受けています
- 自宅生／自宅外生に特徴があります  
⇒コロナ禍?⇒生活スタイルの差?
- 次年度以降の経年変化に注目です

自宅生(1256人)の上位結果		人
1	勉学研究	35.7% 448
2	アルバイト	26.0% 327
3	学内団体	10.7% 134

自宅外生(503人)の上位結果		人
1	勉学研究	42.5% 214
2	学内団体	18.9% 95
3	アルバイト	16.5% 83

## 大学生生活で「時間を費やした事柄」総合順位

1番「時間を費やした事柄」=3P、2番目に「時間を費やした」事柄=2P、3番目に「時間を費やした」事柄=1Pとして集計した結果

全体結果(換算P総計10,578P)		換算P
1	勉学研究	28.4% 3004
2	アルバイト	25.1% 2658
3	学内団体	11.2% 1187
4	趣味	11.0% 1167
5	遊び	9.7% 1029
6	資格勉強(座学)	9.1% 966
7	特になし	1.4% 145
8	学外団体	1.1% 120
9	資格勉強(稽古)	1.1% 112
10	身体	0.9% 94
11	社会人活動	0.4% 40
-	他	0.5% 56

自宅生(7536P)の上位結果		換算P
1	勉学研究	27.3% 2055
2	アルバイト	26.6% 2002
3	趣味	11.3% 855
4	遊び	10.1% 763
5	学内団体	9.7% 729

自宅外生(3018P)の上位結果		換算P
1	勉学研究	31.2% 941
2	アルバイト	21.5% 648
3	学内団体	15.1% 455
4	趣味	10.3% 312
5	遊び	8.8% 265

# 4: 大学時代のSDGsへの関わり

<第1回卒業生アンケート結果>

**【質問内容】**

あなたはSDGsにおける関心のある課題に対してどのような関わりをしましたか？

関心がなく何もなかった／関心はあったが特に何もなかった／関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした／関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした

SDGsについてあなたが起こしたアクションについて

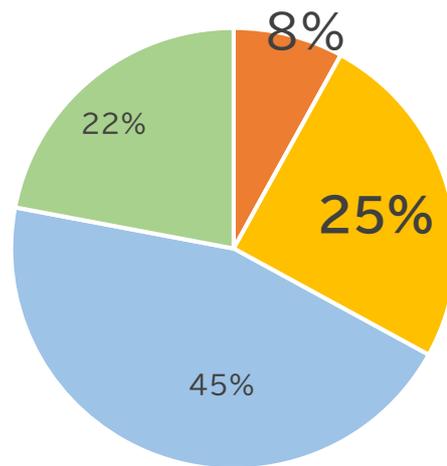
①17のテーマ(複数回答可)

②あなたが起こしたアクションを具体的に教えて下さい(複数回答可)

知識を深めるためのセミナーや学習会に参加/SNS上で自分の意見や考えを発信/署名活動に参加/クラウドファンディングや募金などの資金提供/集会やデモへ参加/就職先を検討する際に重要視した

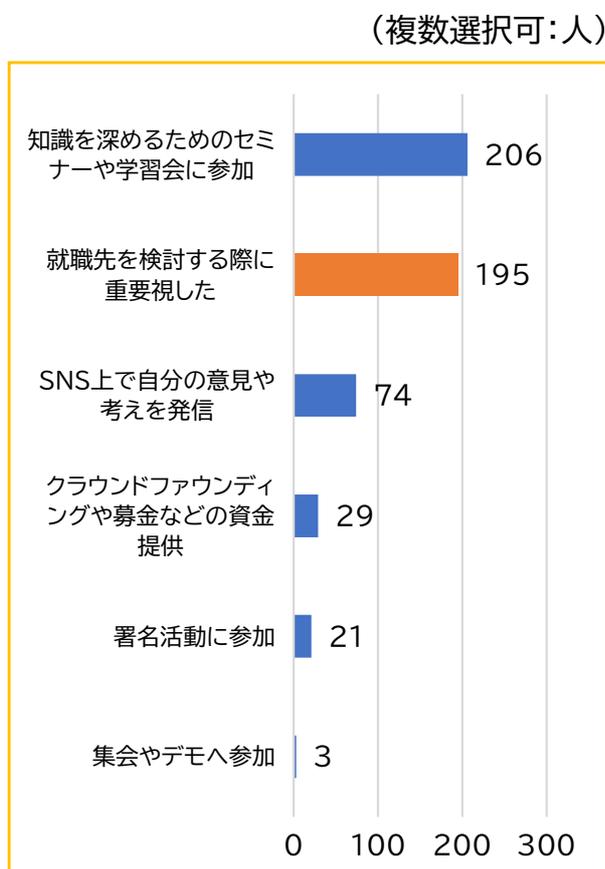
## SDGsへの関わり

全体結果(1763人)	人
関心のあるものについて自分でできるアクションを起こした	149
関心のあるものについて情報を調べたり、考えたりした	433
関心はあったが特に何もなかった	789
関心がなく何もなかった	392



## どんなテーマに対してどんなアクションを起こしたり行動したか

有効回答者582人:複数回答可	人	割合
1 ジェンダー平等を実現しよう	197	33.8%
2 つくる責任 つかう責任	140	24.1%
3 住み続けられるまちづくりを	138	23.7%
4 質の高い教育をみんなに	130	22.3%
4 海の豊かさを守ろう	130	22.3%
6 貧困をなくそう	122	21.0%
7 すべての人に健康と福祉を	117	20.1%
8 気候変動に具体的な対策を	98	16.8%
9 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	95	16.3%
10 人や国の不平等をなくそう	90	15.5%
11 飢餓をゼロに	81	13.9%
12 平和と公平をすべての人に	65	11.2%
13 安全な水とトイレを世界中に	56	9.6%
14 働きがいも経済成長も	52	8.9%
15 陸の豊かさを守ろう	45	7.7%
16 パートナーシップで目標を達成しよう	32	5.5%
17 産業や技術革新の基礎をつくろう	31	5.3%



# 5: 大学生活は充実していましたか？

<第2回卒業生アンケート結果>

**【質問内容】**

① 大学生活はどれくらい充実していましたか？(5件法)5とても～1まったく)

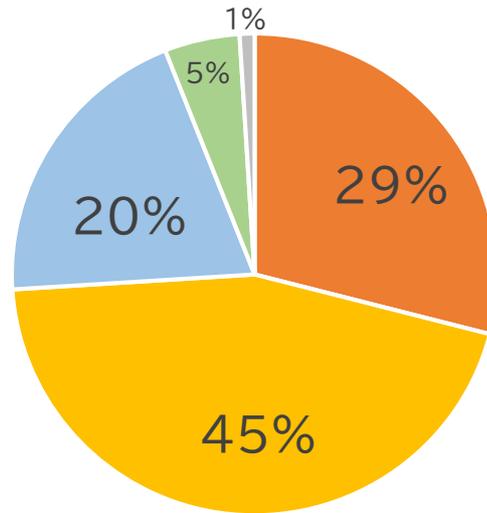
② 以下の事柄においては充実していましたか？YES/NO

勉学・研究活動／部活・サークル／友人の存在／憧れ・目指す人の存在／推しの存在／恋愛／やりたいことをやれた／将来の展望が開けた／自己肯定感があがった／自分にとって価値のある成果を残せた

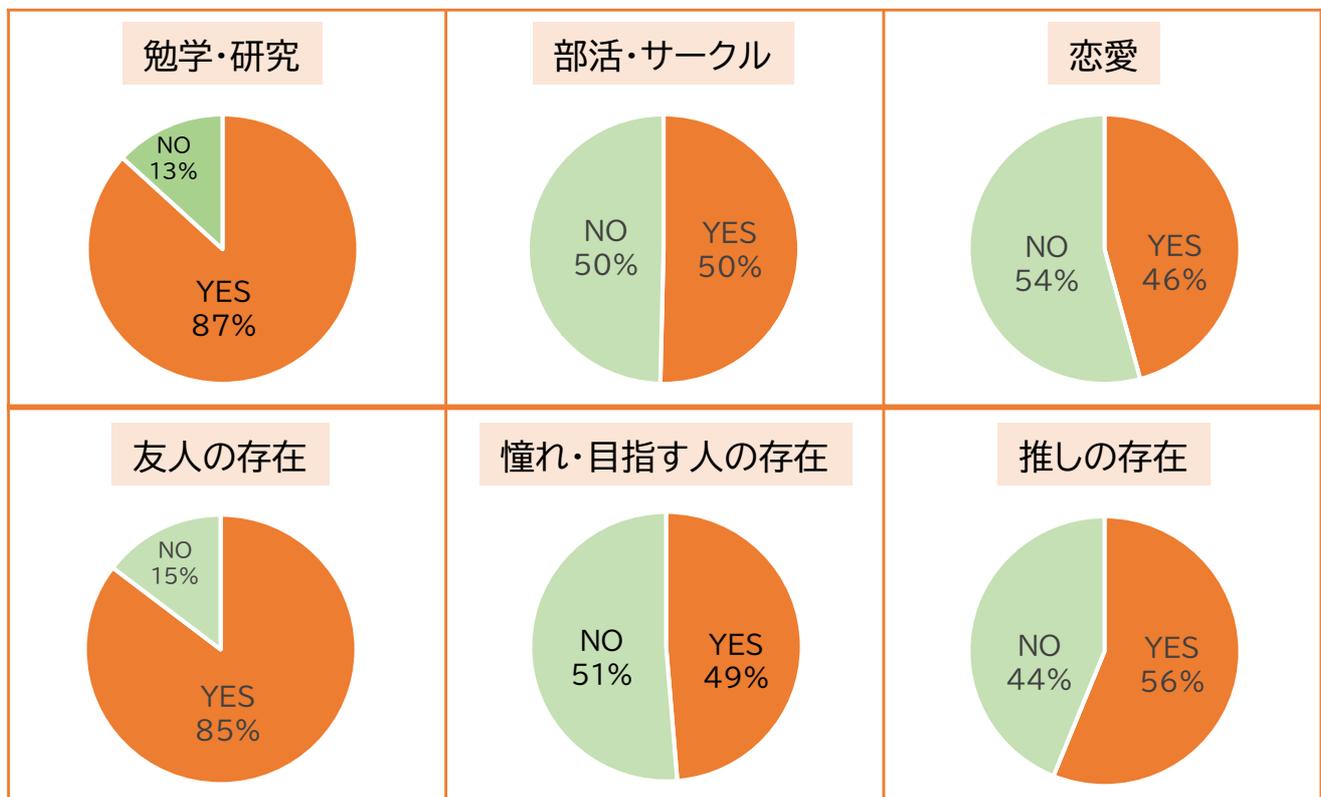
## 大学生活はどれくらい充実していましたか？

全体結果(752人)

(とても)5	215	
4	341	
3	148	
2	40	
(まったく)1	8	

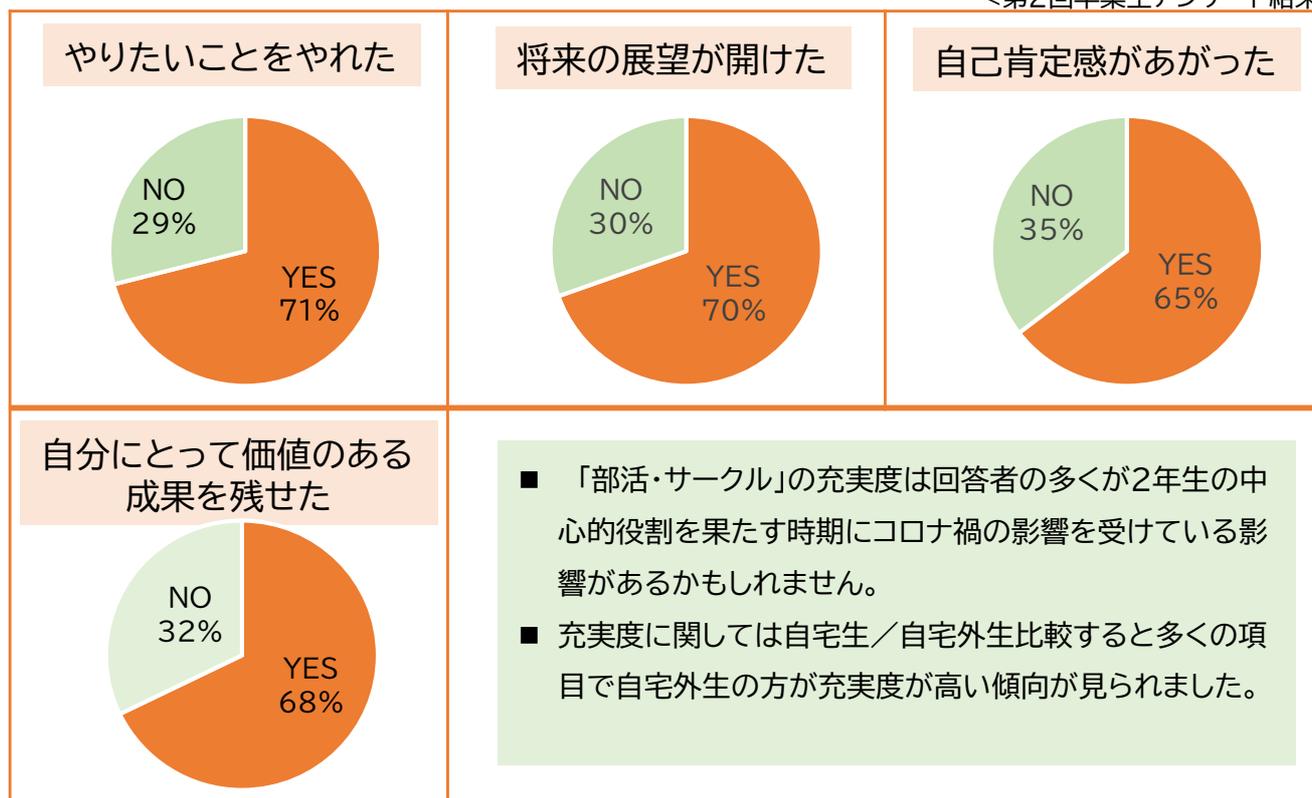


## 以下の事柄については充実していましたか？(752人)



# 6: 大学生活の充実度における相関関係

<第2回卒業生アンケート結果>



## 大学生活の充実度における相関関係について

項目	相関係数	相関の有無
やりたいことをやれた	0.48	正の相関
自分にとって価値のある成果を残せた	0.41	正の相関
自己肯定感があがった	0.38	弱い正の相関
将来の展望が開けた	0.37	弱い正の相関
友人の存在	0.34	弱い正の相関
憧れ・目指す人の存在	0.33	弱い正の相関
勉学・研究活動	0.27	弱い正の相関
部活・サークル	0.26	弱い正の相関
恋愛	0.23	弱い正の相関
推しの存在	0.09	相関がない

大学生活の充実度に関して、正の相関が見られたのは「やりたいことをやれた」「自分にとって価値のある成果を残せた」の2項目でした。

大学生協は、大学生がやりたいことを見つけたり、挑戦するための支援を今後行ってまいります。

また、本人にとって価値のある成果を生み出せるよう日々の大学生活をサポートしていきます。

大学生協ができることの一例

「やりたいことを見つける／挑戦」を支援する

- ・新入生対象 S-UP(スタートアップ)講座
- ・資格取得のためのスクール生協割引
- ・留学／海外体験オリジナルプログラム

「自分にとって価値のある成果を出す」を支援する

- ・大学生協オリジナル公務員講座
- ・就職活動支援(合同企業展の開催)

# 7: 大学生から次のステージへ向かう卒業生

<第3回卒業生アンケート結果>

## 【質問内容】

① 昨年秋頃から現在、以下の項目で不安を感じたり、苦労したこと(していること)はありますか？(複数選択可)

卒業論文・卒業研究に関すること／卒業単位に関すること／支出面に関すること／収入面(アルバイト等)に関すること／卒業前後の引っ越し・準備に関すること／4月以降の新しい環境に関すること(うまくやれているか、など)／特に思いつかない

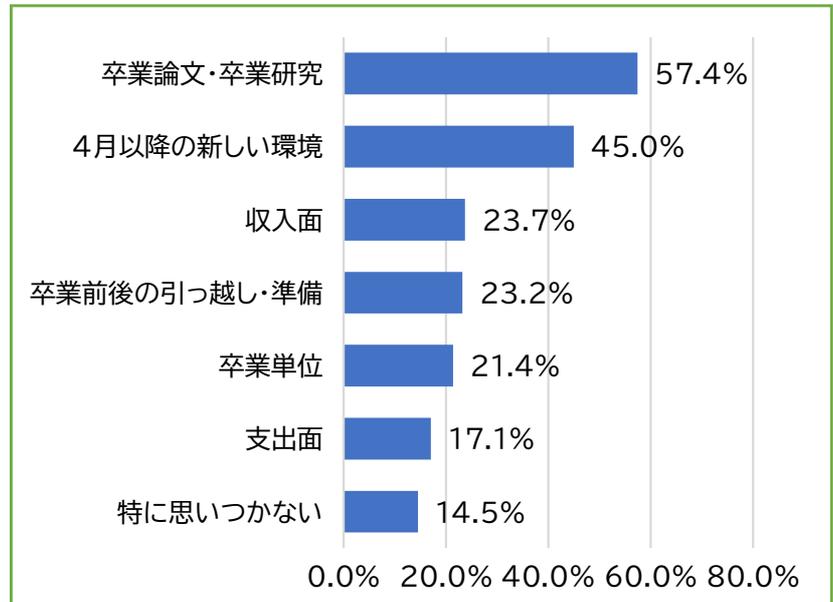
② 上記回答いただいた事柄について、具体的にどのような不安や苦労したこと(していること)を教えてください。

③ 「もっとこうしておけばよかった」「事前に知っておきたかった」と思うことがあればご記入ください。

## 卒業学年の秋から春にかけて不安を感じたり苦労したこと

全体(1038人)複数回答可

卒業論文・卒業研究	596
4月以降の新しい環境	467
収入面	246
卒業前後の引っ越し・準備	241
卒業単位	222
支出面	177
特に思いつかない	151



## 学業生活に関する不安や困り事

	私立大学 学部卒(農学部)Aさんの場合	国公立大学 学部卒(人文部)Bさんの場合	国公立大 大学院卒(情報科学)Cさんの場合
具体的な困り事	これと言った研究成果が挙げることが出来ていなかったため焦りと不安があった。4月から修士課程へ進むため、後輩に教える立場になり、その責任感と不安があった。	卒業に必要な単位はすべて取れているはずだが、数え間違いなどがないかどうかが心配。卒業が確定したという連絡は来ないので、いまだ不安である。	ゴールのない研究に対して、最終的に満足のいく結果を出せるか、綺麗にまとめられる範囲まで結果を出せるかどうかという不安が常にあった。
こうしておけばよかった	大学の授業は興味の幅を広げる為基本的な事はかりで専門的な事は主に研究室に入ってから学ぶため、着いて行くのに必死だった。研究室の配属が決まってから研究が始まるまでの期間にもっと自主的に勉強すればよかったと思っている。	卒業単位について、教務課に行って確認してもらえばよかった。	先輩達をみていてわかっていった流れではあったが、もっと本気で、もっと早く動くべきであったと思う。しかし、ゴールがないため、どのような結果(うまくいっていたとしても)でも同じように後悔はあったのかとも思う。

# 8: 卒業前後の不安や困り事

<第3回卒業生アンケート結果>

## 収入減少と支出増加に関する困り事

	国公立大学 学部卒(工)Dさんの場合	国公立大学 学部卒(教育)Eさんの場合	国公立大 学部卒(デザイン)Fさんの場合
具体的な困り事	研究とアルバイトを両立する体力がなかったため、 <b>研究配属前の4割ほどの収入</b> となり、そのぶん支出を減らす必要があり旅行や買い物制限された	教員採用試験期間に <b>アルバイトを減らしていたことに加え、社会人になったら必要不可欠な車の購入、友人との旅行など出費が重なったこと</b>	卒業制作に専念しようとアルバイトを辞めたが、お金が入らなくなり制作に関わる <b>お金や自分の生活費がまかなえるか心配</b> だった。

## 自分自身に対する悩み

	国公立大学 学部卒(文化政策)Gさんの場合	国公立大学 学部卒(教育)Hさんの場合	私立大 学部卒(文)Iさんの場合
具体的な困り事	就職活動がうまくいかず、 <b>志望した業界と全く異なる企業に就職するため、就職したくなさすぎる</b> こと、それに悩みすぎて他の事もするのが億劫でなかなかすべきことが進まないこと。	<b>研究に対する理解・知識不足に大して不安を感じるようになった</b> 。また、こうしたことから <b>研究のモチベーションが低下気味になり、進捗が芳しくない時があった</b> 。他大学院に進学することもあり、 <b>新天地での交友関係に不安を感じた</b> 。	研修会で周りの内定者との <b>実力差を感じ、劣っている自分は4月から大丈夫なのかと不安</b> に思いました。

## 引越しや新生活準備に対する困り事

	国公立大学 学部卒(看護)Jさんの場合	国公立大学 学部卒(工)Kさんの場合	国公立大 学部卒(農)Iさんの場合
具体的な困り事	遠方の県に就職するため引越しするにあたって <b>一人暮らしをしたことがなかった</b> ので、働きながら一人暮らしができるかという不安と、 <b>引越し準備に苦勞</b> しています	これまで <b>実家を出たことがなかった</b> ため、 <b>引越しが不安</b> だった	<b>多くのやるべき事に追い詰められるような不安に常に襲</b> われていた。

### 大学生協ができること

#### 卒業後の新生活サポート

- ・新生活のお部屋探し
- ・引越し業者の生協割引
- ・生命共済社会人コースの切替

#### 卒業生によく利用されるサービス

- ・卒業衣装(はかま等)レンタル
- ・卒業旅行 8
- ・レンタカー

サービスの利用提案だけでなく今回の調査結果をもとに卒業直前期の大学生の生活の様子やアドバイス等の情報提供をより一層大切にしてまいります

# 追加調査結果報告<民間就職者/5月>より

<第4回卒業生アンケート結果>

第3回回答者のうち、進路先が民間就職と回答した300人に対し卒業後追加調査を実施した。

目的 : 卒業直後の生活変化や生活変化に伴う行動実態を把握する  
 名称 : 第4回卒業生アンケート  
 方法 : インターネット調査(メール連絡)  
 時期 : 2023年4月28日~5月14日(入社して最初のゴールデンウィーク期間)  
 回答者 : 206(回収率68.6%)

## 9:就職準備に関わる支出について

### 【質問内容】

就職先が決定してから必要となった費用全般についてお聞きします。  
 費用はどのように用意しましたか？(複数選択可) その中で最も高い割合を占めたのは？  
 貯金を取り崩した/親や親戚からの援助/お勤め先からの援助/ローンを組み入れた/その他

### 【1-1】就職準備のためにもっとも費用がかかったのはどれですか？

新居契約の初期費用/引越し費用(家具・家電類を除く)/新たな家具家電の購入/パソコン(タブレット含む)/身の回りの物(スーツ・時計・カバンなど)/自家用車/入社前の資格取得・検定受験に関する費用(対策講座受講含む)/特に思い当たらない/その他

### 【1-2】具体的な金額を教えてください

0円/1円以上5万円未満/5万円以上10万円未満/10万円以上15万円未満/15万円以上20万円未満/その他

就職準備にかかった費用の総額を教えてください。「その他」を選択された場合は〇〇万円とご入力ください(選択肢は1-2と同じ)

## かかった費用の総額と資金準備について

費用の総額(回答206人)	卒業後の居住形態					
	親と同居 81人		親と同居以外 125人			
0円	19	9%	15	19%	4	3%
1円以上5万円未満	44	21%	21	26%	23	18%
5万円以上10万円未満	33	16%	14	17%	19	15%
10万円以上15万円未満	23	11%	11	14%	12	10%
15万円以上20万円未満	37	18%	6	7%	31	25%
20万円以上50万円未満	26	13%	4	5%	22	18%
50万円以上100万円未満	3	1%	0	0%	3	2%
100万円以上	20	10%	10	12%	10	8%
その他(未計)	1	0%	0	0%	1	1%
	206		81		125	

もっとも費用がかかったもの (回答206人)		
新たな家具家電の購入	43	21%
新居契約の初期費用	39	19%
引越し費用 (家具・家電類を除く)	36	17%
特に思い当たらない	32	16%
自家用車	25	12%
身の回りの物 (スーツ・時計・カバンなど)	17	8%
入社前の資格取得・検 定受験に関する費用(対 策講座受講含む)	9	4%
その他	4	2%
パソコン(タブレット含む)	1	0%

- 総額100万円以上の費用が掛かった方全員が「自家用車」を購入しています。自家用車を購入したと回答した25人の居住形態は親と同居18、それ以外が7でした。
- 在学中自宅生は100人。この中で卒業後居住形態を変更した方は「一人暮らし」25人、「寮」9人でした。

回答206人	資金はどのように用意したか？ (複数回答可)		もっとも高い割合を占めたのは	
	貯金を取り崩した	145	41%	81
親や親戚からの援助	153	43%	104	50%
お勤め先からの援助	51	14%	14	7%
ローンを組み入れた	5	1%	3	1%
その他	0	0%	4	2%

- 資金を用意するにあたっての「援助」の項目は「一時的に資金の貸与を受け今後返済していく予定」という回答も含まれます。

# 10:卒業後の食生活の変化

<第4回卒業生アンケート結果>

## 【質問内容】

毎日の食事について教えてください  
基本3食摂っている/朝食抜きが多い/全体的に不規則になっている/その他

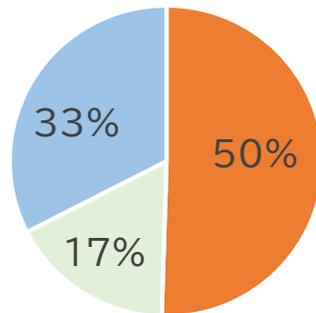
大学時代と比較して現在の食生活は？  
健康的になったと思う/不健康になったと思う/変わらない

上記のように回答された理由を教えてください

## 大学時代と比較して現在の食生活は？

全体結果(206人)

健康的になった と思う	104	50%
不健康になった と思う	35	17%
変わらない	67	33%



毎日の食事について(206人)

基本3食摂っている	183	89%
朝食抜き	19	9%
不規則	3	1%
その他	1	0%

### 健康的になったと思う理由

回答者(82人)自由記述要約

生活リズムが整った	32
三食摂るようになった	16
会社の食事が良い	14
自炊の工夫	11
バランスの良い食事	7
家族が作る食事	6

### 不健康になったと思う理由

回答者(29人)自由記述要約

生活リズムが崩れた	10
自炊の悩み	6
バランスの悪い食事	4
会社の食事が悪い	4
外食が増えた	3
体調不良	2

大学時代は生活リズムが不規則で食事の時間が毎日異なることが多かったが、社会人になって生活リズムが規則正しくなり、食事をとる時間がほぼ毎日同じになったため。

食事を削ることがなくなった

朝同じ時間にちゃんと起きて、しっかり三食食べるようになったため。

学生時代は昼食はお弁当でしたが、今は社食です。健康メニュー等を積極的に食べるようにしているため健康的になったと感じます。

飲み会の増加。また、帰宅時間が遅くなったため。

食事のメニューを考える余裕がない。

何をするにも億劫で、主食と簡単に作れるものばかり作ってしまうから。

疲労で帰宅してから沢山食べてしまうから。

【質問内容】大学生協の食堂を思い出し懐かしく感じるエピソードや「また食べたい」と思うメニューを教えてください

【自由記述 123人回答】

■食堂に行くとき誰かしら知り合いがいて、話をする機会が多かった、オムハヤシやチキン竜田丼が食べたいですね。■毎日栄養素のポイントを参考に、うどんやラーメンの大盛りと、小鉢やサラダなどを注文していた ■辛みそ豚丼、根菜豚汁うどんが好きだった。思い返すとコロナ禍以降はほとんど食堂に行っていない。■いつも友達とテイクアウト弁当のメニューを楽しみにしていました ■友人と集まって会話をしながら色々なメニューを食べた ■秋冬限定メニューの、きのこたっぷりあんかけうどんが美味しかったです。寒い日に友人と食べて体が温まりました。きのこが本当にたくさん入っていたので、「マジできのこだらけじゃん」と言いながら食べました。■食堂のおばちゃんとおしゃべりするのがいい気分転換になった ■設立したサークルのメンバー全員で食べたことが思い出。鮭丼が美味しかった。■肉うどんを友達と食べていたのが懐かしいです ■20時閉店の学食に滑り込みで食べたカレー

# 大学生活を通じて成長したと実感する経験

<第2回卒業生アンケート結果>

大学生活を通じて自分が成長したと実感する経験（その1）について具体的に教えてください。成長した経験（その1）から得た『教訓』を教えてください

## コロナ禍を経験したからこそ

コロナ禍で大学祭の開催に携わったこと。

ポジティブ思考になった。

コロナが蔓延して学びたいことや会いたい人など当たり前で大学でできると思っていたことができなかった。

当たり前だと思ってることが当たり前ではないということ。今を大切にしようということが私の教訓となった。

コロナで留学が中止になっても新しい目標を見つけて、それに繋がる会社に就職できたこと。

やらずに後悔するより、やっぱり後悔する方が良い。

## 部活・サークル・アルバイト

サークル活動で仲間と共に企画を進めていくことで協同的にものごとに取り組む能力やスケジュール管理能力が成長したと感じた。

仲間と共に活動して培う力は、自分だけでは育めない能力が沢山あるということ。

アルバイトをしてお金を稼ぐことができるのは当たり前と考えていたが、尊敬する人にそうではないと叱られた経験。

働いてお金を得るということは、逆に言えば自分の働きに対して満足感を覚えてお金を払ってくれる人がいるということ。それを忘れてはならないと。

部活のとき、良くも悪くも、自分にも人にも厳しいことが良いことだと思い込み、それが悪い印象で言葉や伝え方に現れてしまい、それを苦手だととらえられてしまった。異なる価値観や人間性を尊重しないとチームはうまくいかないと感じた。

## 大学での学びによる視野拡大

以前よりも自分の考えを言葉で表現することが上手くなった。表現することで、自分の考えを深めたり、逆に否定してみたりと、いろんな角度で物事を考えられるようになった。授業後のコメントシートを書くことで、自らの考えを外に出すクセがついたのかなと思った。

海外の言語・文化・社会等を専門的に学んだことでかなり視野が広がった。

何事も外見で判断、勝手に理解してはいけない。

ロシアとウクライナの国際関係についての講義で、ロシアを悪、ウクライナを善と見る単純化された構図を廃して多角的かつ中立的に出来事を見る見方を学んだ。

「絶対的な真実」に囚われると、真実から遠ざかる。

## 実習・将来を意識した行動

看護学実習にて、実際に患者様と関わらせて頂いたこと。

どれだけ未熟で学ぶ立場でも、相手に喜んでもらえたり、ケアとなることを行うことが出来るなど、役立てることがあると言うこと。

教育実習を通して、自分の進路や理想像について考えることができたり、責任感を培うことができたと思います。

教員の言動が子どもに与える影響はとても多いこと。だからこそ、慎重に、願いをもって届けなければならないこと。

就職を意識して、改善したい自分の性質を自ら行動することで変えていったこと

失敗は学び、行動することが成長に繋がる

## 一人暮らし

初めて一人暮らしをした。洗濯や調理をはじめとする火事を全部自分がしないといけなくて、意外とそれに時間がとられて勉強の時間が短くなってしまった。

物事は一人でできることはほとんどなくて、誰かの協力によって成り立っている。

一人暮らしを始めて、責任感や生活力を得られた

自立に必要な力は、自分で失敗しながらでもやっていくことで身につけられる

一人暮らしをするようになり、家事を行うなど、自立できるようになった。

苦手意識を持つものも、挑戦し続けられるようになる

## 研究

研究を通して、高校までの言われたことだけをやるでは通用しないことがわかり、主体的に取り組む姿勢を意識できるようになった。

助けを求めることは大事

研究室の先生がいろんな人と信頼関係を築いて行こうとする物怖じしない姿に感動し、自分も見よう見まねでいろんな人に話しかけたこと。

世の中は自分が勝手に決めつけていることがほとんどで、行動してみなければ分からないことが多々あるということ。

研究室の先生から紹介してもらい、書籍の執筆に携わることができた

自信があまり無い事でも、少しでも興味があれば、やりたいと手を挙げるのが大事

## 自分自身の考え方

考え方が成長した。様々な初めての経験や体験を通して色々な考え方が身につきました。

自分にとって、「こう思う！」と決まりきったような考えや、偏見のようなものがなくなり、他の可能性や見方があるのではないかとおもうようになりました。

分からないことに恐怖を覚えることがなくなり学外にて未経験のことにも挑戦するようになった。

分からないことはよいことと考えるようになった。

大学では、今まで出会ったことのない人たちと出会うことができ、いろんな考え方や価値観に出会うことができた。もっとこうなりたい、こんなじゃダメだといつも自分を律して生きてきたけれど、いい意味で、そんなに気張って生きなくてもいいんだと思えた。

## 自分の夢に近づいて

全く持っていなかった知識を身につけることができた。それが自信に繋がり、将来の夢を叶える第1歩を踏み出した。

夢を叶えるには、そのために自分から動いたり発言したりすることが大切。

一緒に夢に向かって頑張っている仲間ができたこと。たくさんの方々を支えていただいた。

大学の友達は一生物の。

私は部活動をしながらか公務員になるための勉強を継続して行い公務員で内定を頂きました。公務員試験の勉強は高校までと違い与えられてやる勉強でなく自分がやりたいこと、進みたい道のために進んでやりました。一般企業に路線変更すればすぐにでもやめれることを頑張らないで合格を頂けて自分の成長を感じました。

# 先輩から後輩へメッセージ

<第2回卒業生アンケート結果>

自分から動く、考える、挑戦することをしないと、まるで無味乾燥な生活を送ることになります。人間関係も大切です。時にどうしようもなく一人になりたいと思うこともあるでしょうが、人間関係を完全に断ち切ると何も情報が入ってこなくなり、大学の講義やゼミ、就職で苦勞します。毎日の生活における潤いもどんどんなくなっていきます。

無気力感や虚無感、自己否定に苛まれて生きるのは大変しんどく、自分で考えること、動くことすら億劫になります。どうかこうならないようになんとか頑張ってください。

(私立大・学部卒・法)

大学に合格したからといってそこがゴールではありません。自分が将来何をしたいのか、人との出会いや経験から探すもよし。最初からリアリスティックな考えのもと、良い企業に入るため、資格取得や自分磨きを行うのもよしです。

ただ、どんな道を選ぶにせよ共通して言えるのは、社会に出ることを見据え、実績や経験を積極的に積んでいくべきだということです。

(国公立大・学部卒・法)

何事も先延ばししない。その時にやれることは全てやる。コロナで自動車学校が閉鎖になってその間に教習期限が切れた人や、ウクライナ侵攻により留学できなかった人もいる。何事も早めに！

(私立大・学部卒・法)

第二の家になるくらい大学に行って、勉強もサークルもやっちゃおう

(国公立大・学部卒・文)

大学は、自分で居場所を作るところです。いくら偏差値が高いところに行っても、自分で動かないと、いるだけになってしまいます。自分で動いてください

(国公立大・学部卒・文)

大学入学で人生は決まらないけど、大学で就職のためにどう過ごすかで人生は変わります。沢山遊びながら、将来のことも考えて。

(私立大・学部卒・法)

薬学部に入學したとしても待ち受けているのは試験だけですが、そんななかでも要領よくこなして、一度しかない大学生活を楽しんでください。毎年、去年の方が楽しかった、遊んでおけばよかったと後悔します。

(私立大・学部卒・薬)

他大学の友達たちがみんな遊びまくっている中で、とてもツライ時期もありましたが、努力していればいつか私たちが勝っていると思える時がくると信じて、頑張ってください。

(国公立大・学部卒・看)

面白そうなことはどんどんチャレンジしてください。私は「やらない後悔よりやって後悔だ！」を胸にリーダー経験やアラビア語学習など新しいことに挑戦しました。失敗しても続けられなくてもいいと思います。必ずどこかでその経験で学んだことが繋がります。

(国公立大・学部卒・外国語)

大学は1年のときは学科混合の授業が多く、3年生になると学科の専門科目の授業が多くなり、4年生では研究室に配属されます。そのため学年ごと環境が変わっていきます。1年生のとき思ったように行かなくても、その後は楽しい生活が待っているかもしれないので、根気よく頑張ってください

(国公立大・学部卒・工)

恐れることなく、何でも挑戦して失敗してください。何も挑戦しないことが本当の失敗ですよ。

(国公立大・学部卒・生物資源)

漠然と過ごすよりも、事の大小に関係なく、やりたいことに挑戦した方がいいと思います。学生のうちにしかできないことがある、と言いますが、実際その通りだと思います。結局、自分から行動しないと何も始まりません。自分が何がしたいのか分からなくても、まずは少しでも興味のあるコミュニティに参加して、仲間と交流するなかで、やりたいことを見つけることができれば最高です！

(国公立大・大学院卒・総合科学技術)

やりたいことは見つけるのではなく、作り育てるものだと思います。部活、バイト、学問、なんでもいいので時間と脳のリソースを大量に投入して、できるなら誰かと一緒に取り組んでみてください。研究室でやる実験はおすすめです。うまくいかないのが当たり前、一個一個の実験は非常に地味。人生の縮図だと思います。

(国公立大・大学院卒・医系)

経験した分だけ意味のある学生生活になる。

(国公立大・大学院卒・理学研究科)

大変なこともあると思いますが、努力は報われますよ！自分のペースで頑張ってくださいね。

(私立大・学部卒・心理)

# おわりに: 卒業生が見た大学生協

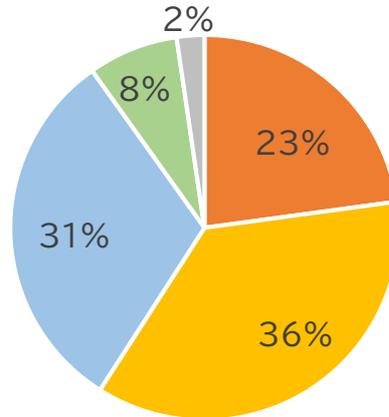
<第3回卒業生アンケート結果より>

【質問内容】

大学生協に対する満足度を教えてください(5件法 5とても満足～1とても不満)

全体結果(1038人)

(とても満足)5	237	
4	376	
3	323	
2	78	
(とても不満)1	24	



【質問内容】

大学生協は「4つの使命」のもと、事業活動を行っています。ご存じでしたか？  
 知っていた／なんとなく知っていた／今初めて知った

全体結果(1038人)

知っていた	109	11%
なんとなく知っていた	264	25%
今初めて知った	665	64%



1. 学生・院生・教職員の**協同**で大学生協の充実に貢献する
2. 学びのコミュニティとして大学の理念と目標の実現に**協力**し、高等教育の充実と研究の発展に貢献する
3. **自立**した組織として大学と地域を活性化し、豊かな社会と文化の展開に貢献する
4. 魅力ある事業として組合員の**参加**を活発にし、協同体験を広めて人と地球にやさしい持続可能な社会を実現する

【質問内容】大学生協があっただけ良かったな、と感じた場面やエピソード、思い出について自由にご記入ください

【自由記述 640人回答】

■1年生の時、昼ごはんはいつも生協で友達と一緒に食べていた。コロナがなかったら2,3,4年生でもみんなと一緒に生協で昼ごはんをたべていたと思う ■入学当初に開催された大学生協プランニング講座などのイベントは、人と話したり大学生活をイメージしたりできて良い場だった ■エントリーシートがいろんな種類がある中で生協のものは安心して買うことが出来た ■コロナに感染してアルバイトに入れなくなったが、給付金をいただいたこと ■怪我をした時の保険の対応やパソコンの不良の対応などがスムーズだったこと ■自動車学校にスムーズに通えたこと。手続きが簡単だったし、サポートも充実していたと思う ■授業の合間、疲れたときにみんなで生協に行って息抜きができる時間がとても好きでした ■書籍が割引購入できること。店舗での受け取りの際も、担当の方がとても感じ良く接してくださいました ■本の取り寄せをインターネットで簡単に申請できたことが非常にありがたかった。自分が欲しい本は専門書を扱っている特別な書店でしか取り寄せていないものばかりであったため、便利だった。 ■食堂パスを使って食堂を利用していました！食堂で過ごす楽しいお昼ご飯の時間は、大学に行く楽しみになっていました！ありがとうございました。 ■留学に行くときに、色々なプランを紹介していただけた。申し込みも簡単で、安心して海外に行くことができた ■公務員試験講座やコロナの補償、また学生委員会でもお世話になり、私の学生生活の一部であったことは間違いなく感じます

卒業生アンケートに関する詳細や  
 深堀調査に関する情報を  
 大学生協東海グループCoe(こえ)  
 で連載しています。  
 ぜひご覧ください

